

平成29年度 コンクリート構造部会 第2回部会・施工部会 第1回部会 開催報告

平成29年 7月27日(木)、白河市内においてコンクリート構造部会・施工部会合同での勉強会を開催しました。36名の方に参加いただきました。

1. 県道279号 高萩久田野停車場線 大正橋 の調査(10:30~11:30)

上部工:ポストテンション方式PC5径間単純T桁橋

下部工:控え壁式橋台

張出式(T形)橋脚

橋長:150.00m

幅員: 9.30m

峻後年:昭和49年(1974年)

調査中の様子



2. 白河市立図書館「りぶらん」中会議室1(12:30~15:00)

①橋梁の劣化状況の解説

神永部会長より、損傷状況の説明がありました。
主桁ウェブ側面のひび割れ・遊離石灰の状況
橋脚のひび割れ、すす汚れなどの状況について
の原因の説明がありました。



②アルカリシリカ反応(ASR)によるコンクリートの劣化と補修

(一社)コンクリートメンテナンス協会
極東興和(株) 営業本部補修部補修技術課 課長 江良 和徳 様を
講師にお迎えしてASRについて
講演を頂きました。
補修工法の選定の考え方、
設計事例、施工事例等について
お話をいただきました。



3. 「東北自動車道 豊地地区函渠工事」現場見学(15:00～15:30)

現在、(株)奥村組様が、国道294号の東北自動車道アンダーパス工事(白河中央IC付近)を実施している。この工事は、SFT工法で実施しており、高速道路を通行規制せずに函渠を構築している現場を見学させていただきました。



SFT工法 : 箱型ルーフと呼ばれる矩形断面の鋼製管を函渠設置箇所に配置し、箱型ルーフと函渠を置換することで、函渠を構築する工法。開削が不要な為、高速道路の規制も不要となる。

第3回部会は10月に相双地区で行う予定です。